

# きりん V.G 槻輪だより

会報第12号  
発行日 平成17年10月31日  
発行・編集 V・G 槻輪  
代表者 大岡成一  
http://web3.ibj.co.jp/kirin

## わがまち紹介

### 地震観測所と阿武山古墳

月 日・平成17年10月20日(木)

#### 阿武山地震観測所

地震予知研究センター  
中村先生に御案内いただきまして、有難う御座いました。

阿武山には、京都大学の地震観測所が有ることはご存知でしょうが、観測所内を見学された方は少ないのではないのでしょうか。

市バス公団阿武山行き消防署前で下車、消防署の北側の道を東に向かい、突き当たりを北に、新たな住宅地を登り、急な坂道を進んで行くと京都大学・地震観測所の門(鉄製番開戸)に着きます。(約25分)

門を入ると同時に木陰のトンネルを約20分樹木の間から大阪梅田の高い建物も見ながら進んで行くと地震観測所の門(鎖で閉鎖)に着きます。

阿武山地震研究所は昭和4年に出来たこのころ、モダンな建築で当時は皆が驚いたことでしょう。

先ず、地球が大陽や月の引力に引かれて絶えず変形しているという驚き、こんな小さな変化もこの阿武山で測定(地殻変動連続観測)しているのです。



説明風景

地震のおきる原因や何処でおきるのかなどのお話を聞いて、各種の観測器の特性を説明していただきました。

観測所の中は、いろいろの地震観測の機器が働いています。今は全て宇治にある地震予知研究センターにデータを送り分けています。

観測器にも感度の良い物から鈍い物まで必要とされています。見学が終わった後も先生と次つぎと話が弾み、高槻の地質や断層の位置も勉強出来たかと思えます。

#### 阿武山古墳

阿武山古墳は、京大地震観測所の裏手約50〜70m位山手にあります。標識が有りますが大阪学院のフェンスの横を山頂へ向かって行くと石柱と詳細な説明板が有ります。

阿武山古墳は、阿武山の中腹標高約210mの尾根上にあります。昭和9年、京都大学の地震観測施設建設のさいに偶然発見されました。

この古墳は盛土がなく尾根の小さいところを幅25mの浅い溝を円形にめぐらせ、直径82mの墓域を区画しています。

中央に花崗岩の切石と部厚い素焼きのタイルを

組み上げ、内側をしつこく

で仕上げた墓室があり、漆で麻布を何枚も貼り固めた夾纈積みようちよかんが安置されていました。

棺内には、銀線で青と緑のガラス玉をつづつた玉枕たまくらを用い、きらびやかな錦をまとった60才位の男性の遺体がありました。S・O

#### 観測所見学記

お天気に恵まれ40分の道を歩き観測所に着いた下から見上げている時は小さいモダンな建物と思っていたが広い土地に結構大きな観測所に驚き、昭和4年に新築、もう75年も経って、大分古くチョツピリ哀れを感じた。

緻密で地味な研究でしょうが頑張ってください。

ローラーで振動をキャ

ッチしてペーパーにグラフが表れる、ひどい地震の時は針が振り切れて上手く記録されないため徹夜で四苦八苦して直されたようです。

阪神大震災のときは阿武山地震観測所だけが作動してデータをいろんな所に送ったということでした。

でも正確な地震の予知だけは、今も出来ないようです。いつの日か正確に地震予知が出来ますように願います。

M・K

## コスモス

## 四季彩

科名：キク科の一年草。

花の美しさからギリシャ語のコスモス(美しい、飾る)に由来した名がついている。花の形が桜に似ているので、和名は「秋桜」と書きます。

高槻市から近場で、比較的大規模のコスモス園「亀岡運動公園前のコスモス園」は45品種約50万本の白、薄紅、深紅色の花が満開でした。

万博公園のコスモス園もあります。

高槻市三島の郷の休耕田のコスモス畑は今年もきれいな花を咲かせていることでしょう。

コスモスは実生で増やします。種まきは4〜7月といわれていますが、種まき後50〜70日で開花するので、種まき時期をずらせば、8〜11月まで楽しむことが出来る大変時期長い種類の花といえます。

T・N



### 11月度行事予定

#### "神峰山寺と神峰山の森自然園"

月 日：平成17年11月17日(木)9:45集合  
集合場所：神峰山寺山門(仁王門) 高槻市大字原3301-1  
交通案内；市バスJR高槻駅 ①乗り場 上の口・原大橋行き 8:50発 原立石下車 徒歩約30分

### 12月度行事予定

#### "1周年記念講演会"

月 日：平成17年12月15日(木)13:30~16:00  
場 所：高槻市城内公民館会議室(予定)  
講 師：(社)中高年齢者雇用福祉協会  
PREP経営研究所研究員  
主任講師 日下 総一氏